

医療百話

湘南藤沢徳洲会病院
心臓血管外科 主任医長 服部 滋



「私は大動脈の病気なんてならない」

実は私もそう思っています。医師になってから多くの心臓大動脈疾患に携わってきましたが、それでも自分の事となると実感湧きません。しかし、日本全国では心臓血管外科の手術は、年間でなんと約7万件も行われていて、そのうち大動脈手術は2万件前後です。自分や家族、友人が大動脈疾患になる可能性はあると言わざるを得ません。

それでも諦めの悪い私は、煙草も吸っていない、血圧の薬も飲んでいない、太ってもいないので関係ないと言いたくなりますが、残念ながらその様なリスクがない方も大動脈疾患を発症され救急車で搬送されてくる方はいらっしゃいます。数分前まで普通に生活して家族と談笑していた方が、突然背中が痛くなり、救急車を呼び緊急手術に至る方を我々は日々目にしています。大動脈の病気について、少し話を聞いてみてもいいかという気がしてきましたでしょうか。

実際に大動脈瘤はどのように見つけ、どのような検査を行うのか紹介します。多くの方は大動脈瘤があっても9割以上が無症状です。よくある見つけ方は、健康診断のレントゲン検査やエコー検査で見つかる場合や、他の病気でCT検査をしたときに偶然発見される場合などです。また、お腹を触ったら拍動するものが触れたため、検査をしたところ発見に至る場合があります。

心臓血管外科の外来では、CT検査で正確な大きさを測定し、大きさによっては3～6ヶ月ごとにCT画像を撮影します。ある程度の大きさを超えて大動脈解離や破裂のリスクが高いと判断された場合には手術をおすすめします。

●大動脈解離

大動脈の壁が裂けることで、背中や胸に激しい痛みを生じます。解離により心臓の周りに血液が溜まったり、脳梗塞を合併したり、足が動かなくなったりと様々な病態を取ります。



●大動脈瘤

胸部や腹部の大動脈がコブのように膨らんだものを瘤(りゅう)と呼びます。膨らむスピードは非常に遅く、症状はありませんがある時突然破裂して強い痛みを生じます。

破裂の程度によりますが救命できない場合も多く、救命できても合併症を発症する可能性は高くなります。その一方で大動脈瘤が破裂する前に手術をすることで比較的 safely に治療が行えます。



●定期健診の受診を!!

大動脈疾患は突然発症し重篤化する可能性もある非常に怖い病気です。定期健診を受け異常が見つかった場合はCT検査などで現状を詳しく知る事が大切です。心臓大動脈疾患で心配やお困りの方は当院にお越しいただき、お話を聞かせてください。

令和5年度下期分 法人会費口座振替のお知らせ

区分	資本金	月額
正会員	300万円以下	800円
	1,000万円以下	1,300円
	3,000万円以下	1,800円
	5,000万円以下	2,400円
	5,000万円超	3,000円
	特別会員(同一代表者及びこれに準ずる代表者の法人)	100円
賛助会員	法人会活動に賛同される個人又は個人事業者	500円

□口座振替契約の皆さまへ

令和5年度下期(令和5年10月1日～令和6年3月31日)の会費をご指定の口座から振替させていただきますので、振替日に不足が生じないようご協力をお願いいたします。

また、平成28年度上期より郵送によるお知らせは省略し、本誌でのご案内とさせていただきます。

尚、領収証につきましては、通帳などの摘要欄の引き落とし表示に代えさせていただきます。

※領収証が必要な場合、事務局までご連絡ください。

■引落日:令和5年11月15日

□口座振替契約をされていない皆さまへ

12月上旬に振込用紙を郵送いたします。法人会費の納入は口座振替が便利です!ご協力ください。

お問い合わせは(公社)藤沢法人会 事務局・0466-22-6444